

加速するサーキュラーエコノミーに向けて ～プラスチックリサイクルの国内外の動向 とその事例、県内企業との試作評価～

日時 2025年 9月25日 (木) 13:20～16:45

会場 鳥取県産業技術センター電子・有機素材研究所
(鳥取市若葉台南7丁目1-1) ※オンラインでの参加も可能

対象 県内のプラスチックやゴムを使用している県内企業の技術者、経営者の方 等

サーキュラーエコノミーへの動きが加速するなか、プラスチックリサイクルの重要性は高まっています。本セミナーでは、プラスチックリサイクルの国内外の動向や取り組み事例について、外部専門家にご講演いただきます。また、産業技術センターと参画企業と共同で取り組んだ、社内プラスチック廃材の利活用に向けた試作事例についてご紹介します。

1 技術講演

13:20～15:35

講演1 「サーキュラー・エコノミー社会を勝ち抜く樹脂リサイクル戦略」

(国研)産業技術総合研究所 研究戦略本部 サークュラーテクノロジー実装研究センター
プラスチックマテリアルリサイクル研究チーム **武仲 能子 氏**

樹脂リサイクルをめぐるヨーロッパ、および国内の動向と、国内樹脂関連企業のリサイクルの取り組み状況についてご紹介します。

講演2 「機器分析とインフォマティクスの融合による高分子材料の劣化構造解析」

(国研)産業技術総合研究所 研究戦略本部 サークュラーテクノロジー実装研究センター
プラスチックマテリアルリサイクル研究チーム **渡邊 亮太 氏**

質量分析や顕微分光法で取得したデータをインフォマティクスにより解釈し、高分子材料の劣化構造を明らかにした事例について紹介します。

講演3 「プラスチック等のリサイクル事例紹介

～リサイクルとは？そして、成功、失敗の分岐点はどこ？～

藤澤KENプラスチックトラブルよろず研究所 所長 **藤澤 健 氏**

プラスチック等のリサイクル事例を紹介しながら、社会システムと3Rをキーワードに、企業の生産活動と環境活動とをどのようにバランスしていくか、解説していきます。

2 試作事例の紹介および意見交換会

15:45～16:45

「県内企業とのマテリアルリサイクルに向けたプラスチックの成形試作 とその強度評価」 (地独) 鳥取県産業技術センター有機材料グループ

今まで廃棄していた部材や端材の有効活用を目的に県内企業と共同試作しました。端材等と原材料(バージン材)を配合した成形品を試作し、配合比率による物性への影響を評価しました。その結果についてご報告します。



講師紹介

・武仲 能子（たけなか よしこ）氏

産業技術総合研究所 研究戦略本部 サークュラーテクノロジー実装研究センター
プラスチックマテリアルリサイクル研究チーム

(兼務) 材料・化学領域 機能化学研究部門 高分子化学研究グループ グループ長

【ご専門】 液晶材料の新規機能開発、樹脂材料のメカニカルリサイクル



・渡邊 亮太（わたなべ りょうた）氏

産業技術総合研究所 研究戦略本部 サークュラーテクノロジー実装研究センター
プラスチックマテリアルリサイクル研究チーム

(兼務) 材料・化学領域 機能化学研究部門 高分子化学研究グループ 主任研究員

【ご専門】 複合材料、構造解析（分光法、質量分析技術、データマイニング）



・藤澤 健（ふじさわ けん）氏

藤澤KENプラスチックトラブルよろず研究所 所長

(元・長野県工業技術センター 研究職員)

【ご専門】 有機工業材料分析、プラスチックの不具合・トラブル解析



環境配慮型有機材料研究会（9 / 25開催） 申込書

申込み方法：下記に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてお送り下さい。
センターホームページ (<https://tiit.or.jp/>) からもお申込みいただけます。

申込み期限：**9月23日(火)**

申込み先：(地独) 鳥取県産業技術センター 電子・有機素材研究所
有機材料グループ 山本、村田、谷岡

FAX：0857-38-6210 E-mail：tiitdenshiyuuki@tiit.or.jp

※オンライン参加の方には当日までに招待メールを送信しますので、メールアドレスを必ずご記入願います。



会社名			
所在地			
TEL		FAX	
E-mail			
参加者	氏名	部署・役職	
参加方法	会場に参加 ・ オンラインで参加 (どちらかに○)		
樹脂材料、複合化について聞いてみたいことや自社の課題をご記入下さい	情報交換の参考とさせていただきます。(別途、メール等でお知らせいただいてもかまいません)		

※記載された個人情報は当センターで適切に管理し、本講習会以外の目的には使用しません。
※なお、当該情報は法令に定める場合を除き、第三者に提供することはありません。